

岐聾祭「きこえとことばのサークル」交流会を行いました！

11月22日（土）岐聾祭の企画で、「きこえとことばのサークル」交流会を行いました。きこえとことばの支援センターでは、地域の園や学校に通う難聴幼児児童生徒が岐聾祭を見たり、当校の仲間と交流したりすることで、「伝え合うこと、分かり合うこと」を共感し、更に自分に自信をもつ機会となることを願って「きこえとことばのサークル」を実施しています。

岐聾祭当日は、地域の園や学校に通う難聴幼児児童生徒13名とその家族、合わせて36名の参加がありました。

交流会には、当校の幼児児童も参加して一緒に活動しました。始めに、高等部を卒業し現在大学1年生の井深翔斗さんの話を聞きました。井深さんから、これまで頑張ってきたことや、大変だったことを話してもらいました。また、現在大学生活でどのようなことを学んでいるのかも聞きました。

どの参加者も、自分と同じ聞こえない・聞こえにくさのある先輩の話に興味深く聞いていました。先輩の話を聞いたり、触れ合ったりして、将来の夢や希望を持てるような良い時間となりました。

次に「なかまあつめゲーム」をしました。聞こえた太鼓の音の数と同じ人数のグループを作り、自己紹介をしました。初めて会う友達と、音声や手話を使って、名前、通っている園や学校、好きな物を伝え合いました。一回で伝わらない時は、何度も伝えたり、伝え方を変えたりして、沢山の仲間と関わり合うことができました。「自分の名前を指文字で覚えてきたよ！」と積極的に参加している子や、「この文字の指文字はどう表すの？」と緊張しながらも周りにいる先生に聞きながら伝えている子もいました。

今後も、「きこえとことばのサークル」交流会を実施し、地域の園や学校に通う難聴幼児児童生徒、その家族同士が交流を行い、お互いを理解し合う場を作っていきたいと考えています。

参加者の感想（子ども）

- ・井深さんにいろいろ教えてもらい、楽しかったです。人工内耳の仲間のことも知れて嬉しかったです。
- ・聾学校の友達と仲良くなれました。とても楽しかったです。
- ・たくさんの友達ができて楽しかったです。
- ・知らない友達のことが知れてよかったです。

参加者の感想(保護者)

- ・卒業生話を聞けてとても良かったです。
- ・いろんな人と会えて、話ができて楽しかったです。
- ・子どもが楽しかったのが良かったです。卒業生話が特に良かったです。
- ・通っている小学校では、難聴児が一人だけなので、他校の子どもたちと交流ができて良かったです。聾学校を見学できて良かったです。
- ・我が子が知らない子どもたちと交流している姿が微笑ましかったです。
- ・同じような状況の子との交流は全くないので、交流会はとても貴重な機会でした。

[卒業生 井深 翔斗さんの話]

どの子も興味深く聞いていました。
大学での様子を写真で紹介してくれました。

[仲間集めゲーム]

グループを作って、聾学校の仲間と交流しました。緊張しながらも頑張って自己紹介をしていました。

